

中濱鐵著作集

黒パン

第一輯

*[Faint handwritten text and sketches on the right page, including a circular diagram and illegible characters.]*

此小出版物を

後藤謙太郎

戦友

村木源次郎

古田大次郎

和田久太郎

捧ぐ

二九二五、二二、十五、

一 鐵 一

## 陣痛

(序詩)

一九二五、一〇、二〇

解りました!

解りましたよ!

解りましたつてば——

え、え!

現實ぢやない!

現實ぢやない!

みんな夢だなんて——その癖——貴郎は妾を欺したのです!

い、え!

今まで妾を弄んで居たのです!

呀ッ!

口惜しい!

ヒイイイ——

妾はあんまり永い間、幻を喰ひ過ぎたのです——ごらん下さい!もう!

こんなにお腹がデツカクはる出しちやつたのですもの——一寸觸つてごらんよ!

其方ぢやないつてば——  
左ですよ！

それ！ 動くでせう？！

貴郎の子供ですよ！

躍つてるのですよ！

屹度 ボウヤに違ひないわ！ 妾に似た——貴郎になんか似なければいゝが？！

暴君に——

ヒッヒヒヒ——

胎むだね？！

娘さん！

時が来たのだ！

お前さんの嫌ひな××××××××——

月経をジウリンしたつていゝんだよ！

秋だ！

おや！ 陣痛だね？！

これやア ごうも——

死一邊つて奴だ！

エツヘツヘへへ——

馬喰ばくちは笑ひ乍ら駆け出した——  
産婆でございます！  
奥さん！

昨日の話の続きです！

個人雑誌發刊の件です！

おやア！

催したやうですね！

それ！

ウンご力んで——

ウン！ ウウン！

さうく——

ウウン！ ウウン！

奥さん！

これ位のごきで今、氣を落しては——も一呼吸です！

ウウン！ ウウン！ ウウン！

さあ！

氣張つても一つ——

ウウン！ウウン！ウウン！ウウン！ウウン！

産みのナヤミです！

大童です！



瀆 獨 鐵 瀆



俺かい？

俺は「俺」ださうだ！

俺は「瀆鐵」ださうだ！

俺は「中瀆哲」ださうだ！

俺は「富岡誓」つてんださうだ！

檀那寺の過去帳に轉寢してゐるんださうだ！

村役場の戸籍面に欠伸してゐるんださうだ！

其筋の黒表の中を徘徊つてゐるんださうだ！

ギロチンの前で跳躍つてゐるんださうだ！

名前は面の符牒ぢやねえか！

面は身體の符牒ぢやねえか！

身體は存在の幻影だ！

幻影は虚無だ！  
虚無は總有だ！

それが如何か致しましたか？

私は「富岡誓」つてんださうです！

私は「中瀆哲」つてんださうです！

私は「瀆鐵」つてんださうです！

私は「私」つてんださうです！

オヤヂミオフクロミの惡血の塊です！

「セイ坊！」です！

「誓チャン！」です！

「オイッ！」です！

「コラッ！」です！

それが如何か致しましたか？

俺は俺だア！

ムムムーだア！

好し好し好し——

ハハハハ——だア！

ハーマーテーターだアよ！

それが如何か致しましたか？

一九二五、一〇、三〇一

「貴様ア！」です！

「上等兵ドノ！」であります！

「立ん坊！」だア！

「テツ公！」だア！

「ゴロツキ！」だア！

「鐵チャン」だア！

「奪還屋！」だア！

「瀆鐵！」だア！

「此の野郎！」だア！

それが如何か致しましたか？

アヤツミコヤツミの苦がい接吻です！

萬年筆の月經です！

ペンネームです！

バイメイです！

三文です！

蜂の頭です！

蟲が喰ひます！

屁をチクハクにタレル積りです！

(御代表奉のXXXX、獄中にて)

一九二五、一〇、三一

其他に何も言ふことはねえ！

觸穢か？

麵麩か？

俺達は俺達だア！

俺達はこれでも二足獣のハンクレダア！

俺達は「黒パン」製造所の職工だア！

やねえ！

これが今の社會の滋養に爲らうか成るまいがそんな事は俺達の知つたこつち

だが

プロレタリアには持つて來いの食物だア！

特種の膨脹藥.....一五%

蒸溜水.....一五%

パン粉.....八〇%

念の爲め、左に原料の化學的成分を明示して置く――

唯、咀嚼が足らぬと消化不良を起して屹度下痢するぞ！

又、獨特の味が湧いて来るア！

根氣好く咬み締めて見る！

一見、無臭無味ではあるが

俺達の手でチカに捏ねて、俺達の手でチカに焼いて出来上つた物のなのだア！

この「黒パン」は外國製の物ではねえ！

俺達は「黒パン」製造所の職工だア！

俺達はこれでも二足獣のハンクレダア！

俺達は俺達だア！

觸

黒パン 麵 粉

麵